一般缶材質表示マーク
スチール®

一般缶連合会ニュース

第130号
平成31年
1月31日

■発行所■
全日本一般缶工業
団体連合会
〒111-0053
東京都台東区浅草橋5-4-5
ハシモトビル5F 502号
電話03(5809)3136

平成31年 年頭の挨拶

年頭挨拶

〝新しい道具〟活用しチャレンジ 未来につなげる年に！

全日本一般缶工業団体連合会 会長
西日本一般缶工業協同組合 理事長
清水 雄一郎

明けましておめでとうございます。

一般缶業界並びに関係各社の皆さまには、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中の本連合会への格別なるご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、２０１９年の年明けは私にとりまして会長に就任してから初めてであり、自然災害の多かった昨年とはうってかわり、穏やかな幕開けに感じました。この先、希望が持てるような明るいニュースが多くなることを祈りたいと思います。

さて、直近の国内環境をみますと、相変わらず変化の激しい時代が続いているように感じます。次々と新しいモノやサービス、仕組みなどが生まれ、自分たちも含めた一般生活者の購買活動や優先される行動にも大きな変化が日々起こっています。しかしながら我々の業界界隈に目を向けますと、製造環境や市場との接点の作り方など、相変わらず旧態依然とした部分が多いように感じます。進化し続ける産業用ロボット、Ｗｅｂやスマホ、ＰＣといった「新しい道具」が登場しているにもかかわらず、変化についていこうとせず、こうした道具も活用しないのであれば、やはり時代に置いていかれるのは当たり前の話ではないかと思います。

少し先に目を向ければ、東京２０２０オリンピック・パラリンピックの開催や、２０２５年大阪万博開催の決定もあり、短中期的には良い流れが見える状況となっています。総じていえば〝悪くない環境〟です。そんな中、このまま現状維持のために経営資源を投入し続けるのか、〝悪くない環境〟だからこそ「新しい道具」を活用して新たな経営資源を投入するのか否かで、数年後には大きな違いが出るはずです。今年は前へ前へと進む亥の年。現状維持ではなく、勇気を出してこの一年を未来につなげる年にしたいものです。

各社各様の〝チャレンジ〟をして、結果的に業界全体が盛り上がれば素晴らしいですし、連合会としても各社のチャレンジを促すような場や取り組みを提供できればと思います。

今後とも会員並びに関係各社の皆さまのご協力を引き続きお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

取引条件改善に向けた取組を粘り強く継続

経済産業省製造産業局
金属課長 黒田 紀幸

平成31年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、昨年は経済産業行政に対する深いご理解と格別のご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

我が国にとって、金属産業は自動車から携帯電話まで幅広い産業を支えるサプライチェーンの中核です。一般缶は、お茶缶やお土産の菓子缶等、お歳暮やお中元に代表される日本の贈答文化を彩る存在として、日本人の生活に深く根付いてまいりましたが、中長期的には、国内需要の頭打ち、ユーザーニーズの高度化と多様化、後継者不足等、数多くの挑戦が待ち受けているのも事実です。

これらの課題に応えつつ競争力を維持・強化していくためには、人や設備への投資の強化に加え、ＡＩやＩｏＴ、ロボット等の技術を活用しながら、生産性のさらなる向上を図りつつ、新規産業や新たな付加価値を創出していくことが必要になると考え

ています。

一昨年から経済産業省が提唱する「Connected Industries」は、それらの技術を活用することで、様々な業種、企業、人、機械等がつながることにより、新たな価値創出を図り、顧客や社会の課題を解決するという産業の未来像を示したものです。これは従来の産業の枠を超えたビジネスモデルの創出や、抜本的な生産性向上、深刻な人手不足の解消等に資する取組であります。

日本の基幹産業である金属産業が引き続きグローバルな競争に勝ち抜いていくためにも、その実現に向け官民連携を強化し、皆様の取組を支援してまいります。

昨年は、中国の生産能力削減や世界的な鉄鋼需要増加など鉄鋼市場の健全化に資する動きが続く一方で、国際貿易の不確実性が大きく高まった年であったと認識しております。

米国の232条に基づく鉄鋼及びアルミニウムに対する追加関税や、米中の貿易摩擦、232条措置を受けた各国による対抗措置や鉄鋼セーフガードといった貿易措置の応酬は、世界市場に混乱をもたらしかねません。こうした動きに対して、これまで日本は各国に、市場歪曲的な支援措置を控えるよう働きかけるとともに、いかなる貿易上の措置もWTO整合性が求められることや、日本製品への関税賦課はユーザー産業へ悪影響を及ぼし得策でないことを説明し、不当な貿易措置に対してはWTO提訴を含めて対応してまいりました。

今後、日本は「自由貿易の旗手」として、これまで以上にリーダーシップを発揮することが求められていると考えています。引き続き、TPP11の更なる拡大を目指し、また、2月1日に発効する日EU・EPAを活用した中堅・中小企業の海外展開を積極的に支援するとともに、RCEPについては今年中の妥結を目指して交渉を進めてまいります。

そして、鉄鋼の過剰生産能力は引き続き世界的な課題となっております。貿易制限措置の応酬がなされている現状であればこそ、多国間の枠組みである鉄鋼グローバル・フォーラムで具体的な成果を出すことが重要です。本年、日本は議長国として、更なる生産能力の削減、市場歪曲的な政府支援措置の特定及び除去に向け、関係各国と協調しながら積極的に取組んでまいります。

国内においては、アベノミクスの果実を業界の隅々まで均てんするため、中小企業の取引条件の改善とサプライチェーン全体で付加価値を生んでいく取組の推進が不可欠です。

2017年2月に策定した「金属産業取引適正化ガイドライン」、また、同年3月に発出した、建設業106団体に対する取引条件改善の要請文のさらなる浸透を図りつつ、今年も官民一体となって、取引条件改善に向けた取組を粘り強く継続していきたいと考えております。

また、一部の業界においては、ガイドラインに基づく自主行動計画を策定いただいております。こうした取組は、業界として取引適正化に真摯に取組んでいることを示す好事例のひとつであり、今後より多くの業界・団体において、こうした自主的な取組が拡がっていくことを期待しております。

競争力を維持・強化する上では、安全対策の推進もまた欠かすことがない前提です。経済産業省としても厚生労働省や金属業界を含む産業界とともに、2017年3月に立ち上げた「製造業安全対策官民協議会」をこれまで計4回開催し、その成果を毎年の「全国産業安全衛生大会」の場で発表するなど、積極的に活動を行ってまいりました。引き続き安全対策について業種横断的な情報共有等を進めてまいります。

金属業界の皆様におかれましては、先進的な取組によって、製造業全体の安全確保に向けた取組を牽引していただけることを期待しております。安全対策の一層の実施と取組の強化をお願いいたします。

最後になりますが、一昨年より、企業における製品検査データの書き換えなどの不正事案が相次いでおります。これらは公正な取引の基盤を揺るがす不正事案として、当省としても事実関係の究明や適切な顧客対応等を速やかに進めるよう、各企業に求めてまいりました。不正のあった企業においては、社会全体からの信頼回復に向け、最大限努力していただきたいと思います。また、そうでない企業におかれましても、これらの事案を契機として、品質向上や製品安全の向上に対する意識を今一度引き締めていただきたいと思います。

末筆ながら、一般缶製造業界のますますの御発展と、皆様の御健康、御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

「相互扶助」で組合員の発展繁栄を最優先で取り組む

東日本一般缶工業協同組合
理事長 廣濱 泰久

皆さん、明けましておめでとうございます。平成31年の年頭にあたりまして、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

昨今の米中摩擦には警戒感を抱かざるを得ない状況ではありますが、こと一般缶に関しては主として国内向けの産業ですので、むしろ国内におけるマーケットの動向に敏感である必要があります。とはいっても、最終消費者と直接にかかわるケースがほとんどない業界ですので、「どうしたらいいの？」と戸惑いつつ新年を迎えられた皆さまも多いかもしれません。

しかし、常識的に考えて「一般缶」が無くなることはありません。である以上、必ず求められている機能・役割があるはず。それにどこまで真摯に向き合うか、さらに言えば社員全員の力をどのようにそれに向かって結集していくか、それが私たちに問われていると思うのです。

東日本一般缶工業協同組合としまして

も、そうした私たちが切磋琢磨するにふさわしい組織でありたいと願っております。昨年後半からの理事会では「リレー講話」という形でそれぞれの経営に対する取り組み方などを勉強する機会を設けるようにしておりますし、次世代の人材育成にも積極的に取り組んでいく予定にしております。

協同組合の存在意義は「相互扶助」であります。その原点に立ち返りまして、「ここに参画している皆さんが発展繁栄していく」ことを最優先課題として取り組んでいく所存です。具体的には「次世代人材育成を含めた『学びの場の提供』」「一般缶の素晴らしさのPR」「行政等からの様々な情報提供」の三本柱で進めていくことになりますが、是非多くの方々にかかわっていただき、そのメリットを最大限享受していただければ幸いです。

年頭挨拶

組合員間の組織連携で人手不足や事業承継に積極対応

中部製罐工業協同組合
理事長 安藤 宏行

皆様には、平成最後の新年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中は中部製罐工業協同組合に対して多大なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。本年も昨年に引き続きよろしくお願い申し上げます。

さて、我が国経済は、超低金利政策など、アベノミクス景気で6年にわたり、ゆるやかに成長を続けてきました。昨年末には優良IT企業の業績懸念や米中貿易摩擦などにより株価は大きく乱高下しましたが、今年も米中問題、ブレクジット等海外波乱要因を抱えながらも国内では、4月の地方選挙、5月の新天皇即位による慶賀、7月の参議院選挙、10月の消費増税と、景気を左右する様々なイベントがあります。さらに2020年の東京オリンピック・パラリンピックそして2025年の大阪万博、2027年のリニア中央新幹線開通などが控えております。

今年は、「亥年」で十二支の最後の干支であります。過去の年回りから察しますと、「しっかり地固めができ、昨年より成長へ向かうのではないか」と思われます。

当業界においては、これまでは景気に対して少し遅れてゆるやかな動きを示していますので他業種よりは低位ではありますが、安定した動きになると期待しています。

一方で、深刻な人手不足や運送費等の高騰が売上の機会損失とならないよう、組合員との組織連携で解決策を図って行きます。また、後継者難について組合内で解決に向けた方策を話し合い、M&Aの手法等を含めた調整手助けの研究を進めていきます。2世経営者たちには勉強の場を提供し、将来にわたる事業承継の展望が開ける道を示したいと考えます。

さらに、組合員の相互理解の上に立って地域性を活かした組合活動を推進してまいります。

来年も組合員並びに関係企業の皆さまにとって価値ある1年でありますことを祈念して新年のご挨拶に代えさせていただきます。

年頭挨拶

新たな問題に対処し良い時代になれるよう希望

全日本金属印刷工業協同組合連合会
会長 中田 正和

明けましておめでとうございます。

いよいよ今年の4月で平成が終わり5月から新たな元号が幕を開けるという歴史的な年が始まりました。私共は昭和、平成を生きてまた新たな時代を迎えようとしています。

私の子供時代は高度成長期、また青年期はバブル時代と私にとって昭和は経済の好調期だったという思いが強いです。それに反し壮年期になりいろいろ重い責任を背負うことになる平成はどうだったのか。平成元年、西暦1989年は世界の大転換期でした。1989年の1月8日に「平成」が始まったとともにその年世界では中国で民主化の芽を完全に潰した「天安門事件」が起こり、ドイツではベルリンの壁が崩壊し、12月には米国のブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長によるマルタ会談が行われ米ソ冷戦の終結が宣言されました。日本ではこの年、4月に消費税制度がいよいよ導入され3%でスタート、バブルはピークに達し日経平均株価は38,957円を記録しました。その2年後の平成3年にバブルが崩壊、100兆円規模の不良債権が発生し、長期低迷が続く「失われた20年」に突入することになりました。このデフレ社会から脱却すべく安倍首相は2012年に『アベノミクス』を打ち出したのですが、6年たった今でもデフレ経済は続いています。この30年間のGDPの伸びは日本が1.6倍なのに対し、アメリカは3.4倍、中国に至っては26.1倍と大きく水を開けられてしまいました。また人口構造を見ますと昭和時代は健全な「ピラミッド」型でしたが、現在では団塊世代が70歳を迎えさらに出生率は低下し少子高齢化構造の「頭でっかち尻つぼみ」型に変わってしまいました。さらにこの30年間に誕生した総理大臣はなんと18人にもなります。3年以上首相を続けたのは小泉元首相と安倍首相だけで他の16人は短命政権で終わっています。そのため長期政策がとれず問題の多い混沌とした時代を招いてしまっているのではないかと思われます。

今年5月には新元号に変わり日本が新たなスタートを切ります。「昭和の良き時代」に戻れないと覚悟しつつも、月々に起こる

新たな問題に対処していき、日本が新しい良い時代となれるよう希望を持ちたいと思います。

末尾になりましたが、皆さまのご健康とご繁栄を祈念いたしまして年始の挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

新天皇即位の年、一般缶業界が「幸福の種」となるよう祈る

東京都鉄力地金商業協同組合
理事長　茂木 孝之

あけまして、おめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、全日本一般缶工業団体連合会様には長きにわたり、ひとかたならぬご愛顧・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年一年を振り返ってみますと、スポーツ界では、平昌オリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍により日本列島は連日熱くなりました。野球界でも大谷翔平選手の衝撃的なメジャーリーグデビューがあり、結果新人賞獲得に至りました。また、テニスの大阪なおみ選手による全米オープン初優勝など、日本人アスリート達の世界での活躍に歓喜しました。

しかしその反面、スポーツ界の不祥事が相次いで発覚し、競技団体のガバナンスが問われる事態となった一年でした。

海外に目をむけますと、11年ぶりに南北首脳会談が開かれ、史上初の米朝首脳会談も開かれました。いまだに続く米中貿易戦争やイギリスのEU離脱問題などの不安定な状況も続き、世界情勢も目まぐるしく変化しております。

国内でも、建設業・自動車業界等の相変わらず続く偽装問題や、日産自動車カルロス・ゴーン前会長の逮捕等ショッキングなニュースも飛び込んできました。

自然災害も多発し、草津白根山・鹿児島県霧島火山等の噴火や、大阪・北海道など各地での地震や、西日本豪雨に代表される風水害は各地に大きな爪痕を残し、平成最悪の被害となりました。また、連日続く猛暑は観測史上最高の41.1度を記録しました。そして、昨年の漢字一文字も「災」が選ばれてしまいました。

しかし、年の後半には、京都大学名誉教授本庶佑氏のノーベル医学生理学賞受賞や、55年ぶりの大阪万博2025開催が決まるなど明るいニュースも飛び込んできました。

本年は、新天皇即位という大変おめでたい節目の年となります。一般缶業界におかれましても、昨年の漢字「災」から「災い転じて福となす」と申しますように、厄介ごとが一転して幸福の種となりますよう祈願いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

全日本一般缶工業団体連合会

平成31年 新年賀詞交歓会を開催

清水会長「明るい雰囲気が漂う中、一般缶業界は前に向かって進む」

全日本一般缶工業団体連合会は平成31年1月18日、東京・港区の浜松町東京會舘で平成31年新年賀詞交歓会を開催し、所属員会社、特別会員、特別賛助会員、一般賛助会員、協力会員、賛助会員、協賛会員など160人が参集した。

挨拶に立った清水雄一郎会長は「景気は総じて悪くない環境といえる。先行きは東京2020オリンピック・パラリンピックや2025年大阪万博の開催など大きなイベントも控え、明るい雰囲気が漂っている。

こうした中で日頃からお世話になっている鉄鋼メーカー、鉄鋼商社、金属印刷会社、流通商社等の皆さまに恩返しのできる、また皆さまには一般缶業界を応援していただけるような一年にしたい。そのためには製缶メーカーはしっかりと前に向かって進んでいかなければいけない」と新年の抱負を語った。

来賓を代表し、経済産業省製造産業局金属課の黒田紀幸課長は「一般缶は他容器との競争があると聞いているが昨年下期は生産量の下げ止まりの兆候が見られた。一般缶の魅力もメディアで取り上げられるなど明るいニュースも見られた一年であったと思う。我が国の製造業を巡る状況は常に見えにくいところがあるが最近ではAIやIoTなどデジタル技術を進めていかなければいけないといわれている。政府では様々な団体、企業がつながる〝コネクテッドインダストリーズ〟を打ち出しているが、こうした動きにも一般缶業界の中で少し関心をもってもらうことを期待する。また、製造業が競争力を維持、発展させていくために安全対策をしっかりお願いしたい」と挨拶した。

次いで東洋鋼鈑㈱缶材営業部の田中和夫部長が「国内ブリキ業界は昭和の時代から平成の時代を粛々と乗り越えてきた。この経験をバネに次の新しい時代に羽ばたいていきたい。東京2020オリンピック・パラリンピックや2025年大阪万博の開催などのイベントをフォローの風にしていき、平成の時代に培ってきた技術や仕組みを生かしながら乗り越えていきましょう」と挨拶し乾杯の音頭を取った。歓談のあと廣濵泰久副会長（東日本一般缶工業協同組合理事長）の中締めで散会した。

来賓挨拶をする黒田課長

主催者挨拶をする清水会長

中締め挨拶をする廣濵理事長

乾杯の前に挨拶する田中部長

全日本一般缶工業団体連合会

「エコプロ2018」に出展

リサイクルの優等生! 一般缶の良さをアピール

全日本一般缶工業団体連合会は平成30年12月6日から8日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロ２０１８～ＳＤＧｓ時代の環境と社会、そして未来へ～」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。

当ブースでは、会員各社から提供された一般缶を展示したほか、一般缶の特長や金属印刷の流れを説明したパネルを掲示。また、連合会の教育ＤＶＤ「人の技と夢が詰まった一般缶」の中の「一般缶と３Ｒ（スリーアール）」とスチール缶リサイクル協会のＤＶＤ「無限リサイクルの秘密」を合体させたビデオをエンドレスで上映した。子供から大人まで３日間で６千人を上回る人たちが見学に訪れ「スチール缶リサイクルクイズ」を楽しみながらスチール缶のエコロジーを学んだ。

スチール缶のエコを学ぶ小学生の子供たち

西日本一般缶工業協同組合

組合互礼懇親会を開催

西日本一般缶工業協同組合は平成31年1月8日、大阪市梅田のホテルグランヴィア大阪で新春の組合互礼懇親会を開催し、組合員会社など14人が出席した。

清水雄一郎理事長は冒頭「今年は良い年になるのではと予感している。それは業界の会長、理事長として今年を占う一番くじを引いたところ『大吉』を引き当てたからだ。業界については『そんなに悪くない』と思うが、これに甘んじることなくチャレンジしていくことが大切。各社、各様で頑張っていただきたい。今年はラグビーのワールドカップ、来年は東京オリンピック・パラリンピック、そして２０２５年には大阪万博も決まり、いい雰囲気が漂っているので、先行きはさらに明るいと思う」と挨拶した。次いで馬場康之副理事長の音頭で乾杯し、懇親に移った。

最後に、小西康晴副理事長が閉会の挨拶を行い盛会裡に散会した。

新春懇親会の会場風景

西日本一般缶工業協同組合

合同部会開催

西日本一般缶工業協同組合は平成30年8月22日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のアウィーナ大阪で合同部会を開催した。内容は①鋼材動向等に関する情報交換及び近況報告②食品衛生法等の法律改正に伴うＰＬについて③防災、安全対策と連絡網体制について営業担当者7人が集まり情報交換した。

《防災、安全対策と連絡網体制に関する主な意見内容》

○連絡体制については、個人情報も考慮し、事が起こっても十分の対応ができる体制を考える必要がある。

○先の災害（地震、大雨、台風）での教訓として、事前対策で帰宅難民を出さないよう今後検討していくこと。

○台風等が接近の状況を踏まえ、適切な退勤を行う必要がある。

西日本一般缶工業協同組合

4S会会議を開催

4S会会議は平成30年10月3日、尼崎市のホテルヴィスキオ尼崎で開催された。関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合（幹事）、西日本一般缶工業協同組合と西日本クラウンズ会から20人が出席した。

第1議題では各組合の業界状況や関連諸問題について話し合われた。清水雄一郎理事長より一般缶の売上実績、直近の業況、鋼材動向、全日本一般缶工業団体連合会関係の話題、近畿地方を襲った台風21号の被害報告、食品衛生法等改正に伴うポジティブリスト問題について話し合われた。

第2議題では4S会関係者の情報・意見交換が行われ、一般缶業界では小ロット化の現状等が紹介された。

4S会会議の模様

平成30年6月～11月までの一般缶生産出荷実績（単位：t）

	年　月	生　産	出荷 販　売	出荷 その他	在　庫
経済産業省データ	30. 6	4,777	5,257	26	6,805
		(4,809)	(4,470)	(17)	(10,148)
	7	4,627	4,716	35	6,662
		(4,563)	(4,299)	(63)	(10,314)
	8	4,425	4,122	33	6,932
		(3,928)	(4,031)	(44)	(10,170)
	9	4,621	4,447	81	7,029
		(4,749)	(4,900)	(46)	(9,945)
	10	5,750	5,269	56	7,451
		(5,141)	(4,839)	(60)	(10,169)
	11	5,863	5,585	68	7,647
		(5,360)	(5,377)	(34)	(10,104)
連合会データ	30. 6	3,487	3,404		6,069
		(3,776)	(3,432)		(5,795)
	7	3,513	3,408		6,112
		(3,524)	(3,349)		(5,828)
	8	3,228	3,157		6,198
		(3,254)	(3,037)		(6,003)
	9	3,353	3,199		6,361
		(3,526)	(3,384)		(6,070)
	10	4,018	3,986		6,355
		(3,962)	(3,858)		(6,112)
	11	4,219	4,202		6,351
		(4,141)	(4,161)		(6,054)

(　　)内は前年同月実績
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

謹賀新年

（順不同）

新日鐵住金株式会社
代表取締役社長　進藤孝生
東京都千代田区丸の内二―六―一
電話　〇三（六八六七）四一一一

ＪＦＥスチール株式会社
代表取締役社長　柿木厚司
東京都千代田区内幸町二―二―三
電　話　〇三（三五九七）三一一一

東洋鋼鈑株式会社
代表取締役社長　田辺敏幸
東京都千代田区四番町二―一二
電　話　〇三（五二一一）六二一一
ＦＡＸ　〇三（五二一一）〇一八

全日本一般缶工業団体連合会
会　長　清水雄一郎
副会長　廣濵泰久
副会長　安藤宏行
東京都台東区浅草橋五―四―五　ハシモトビル五〇二
電　話　〇三（五八〇九）三一二六

東日本一般缶工業協同組合
理事長　廣濵泰久
東京都台東区浅草橋五―四―五　ハシモトビル五〇二
電　話　〇三（五八〇九）三一三六
ＦＡＸ　〇三（三八六四）〇九一一

西日本一般缶工業協同組合
理事長　清水雄一郎
大阪府大阪市北区天神橋二―四―一七　千代田第一ビル
電　話　〇六（六三五三）一九七三
ＦＡＸ　〇六（六三五三）一九六七

中部製罐工業協同組合
理事長　安藤宏行
愛知県瀬戸市安戸町一三―八
電　話　〇五六一（八四）四八五八
ＦＡＸ　〇五六一（八四）四八五八

全日本金属印刷工業協同組合連合会
会　長　中田正和
東京都墨田区業平一―二―六　本所ビル二階
電　話　〇三（三六二六）二四一一
ＦＡＸ　〇三（三六二六）二五〇二

東京都鍼灸地金商業協同組合
理事長　茂木孝之
東京都中央区日本橋大伝馬町一―七
電　話　〇三（三六六三）八三五七
ＦＡＸ　〇三（三六六三）八三五八

株式会社ヒロハマ
代表取締役社長　本多三郎
東京都墨田区石原二―二八―一一
電　話　〇三（三六二五）一六八〇
ＦＡＸ　〇三（三六二五）一六八八

金方堂松本工業株式会社
代表取締役社長　竹内雅夫
東京都台東区東上野一―二八―一二
電　話　〇三（三八三一）一一九一
ＦＡＸ　〇三（三八三一）七一四四

江戸川製罐株式会社
代表取締役　加島　裕
東京都江戸川区平井五―四六―九
電　話　〇三（三六一二）四一三一
ＦＡＸ　〇三（三六一七）五〇三四

エヌエス金属工業株式会社
代表取締役社長　中田則彦
茨城県つくば市緑ヶ原四―六
電　話　〇二九（八四七）七二二〇
ＦＡＸ　〇二九（八四七）六七七九

株式会社神宮製作所
代表取締役　神宮善太郎
千葉県野田市上三ヶ尾二六一
電　話　〇四（七一二五）一二六一
ＦＡＸ　〇四（七一二五）三六三七

杉浦製罐株式会社
代表取締役　杉浦由記夫
茨城県守谷市百合ヶ丘二―一―四八〇七
電　話　〇二九七（四八）二五五一
ＦＡＸ　〇二九七（四八）二五五二

東邦金属工業株式会社
代表取締役　澤田武史
東京都江戸川区松島四―三七―六
電　話　〇三（三六五四）八九一一
ＦＡＸ　〇三（三六五五）七三四八

中川製罐株式会社
代表取締役　中川太郎
東京都文京区湯島三―一六―一三
電　話　〇三（三八三六）〇六九一
ＦＡＸ　〇三（三八三六）〇六九三

水戸部製缶株式会社
代表取締役社長　水戸部伸寿
東京都千代田区神田和泉町一―一三―一
電　話　〇三（三八六六）一一六六
ＦＡＸ　〇三（三八六六）二三八八

大阪製罐株式会社
代表取締役社長　清水雄一郎
大阪府東大阪市岩田町二―三―一二八
電　話　〇六（六七二三）五五四五
ＦＡＸ　〇六（六七二五）三四七〇

生野金属株式会社
代表取締役　小西康晴
大阪府高石市高砂三―二四
電　話　〇七二（二六八）〇七七七
ＦＡＸ　〇七二（二六八）〇七八二

株式会社ゼンユー
代表取締役社長　砂川秀樹
大阪府大阪市淀川区加島四―一〇―四四
電　話　〇六（六三〇九）四〇三一
ＦＡＸ　〇六（六三〇一）二一〇〇

エース精器株式会社
代表取締役　有山信夫
大阪府東大阪市西石切町六―六―一四
電　話　〇七二九（八二）一〇八一
ＦＡＸ　〇七二九（八二）一〇六七

江戸川製罐工業株式会社
代表取締役　渡邊靜雄
大阪府大阪市鶴見区今津北一―七―三八
電　話　〇六（六九六八）六七六一
ＦＡＸ　〇六（六九六八）三二五八

奥村製罐株式会社
代表取締役　奥村清司
京都府綴喜郡井手町大字多賀　小字西松ヶ花一
電　話　〇七七四（八二）二〇七八
ＦＡＸ　〇七七四（八二）四三二四

下宮金属工業株式会社
代表取締役　下宮正裕
大阪府堺市堺区南島町三丁一三一
電　話　〇七二（二二三三）八一二〇
ＦＡＸ　〇七二（二二三三）八一四〇

新高垣製缶株式会社
代表取締役　髙垣悦夫
奈良県天理市永原町五五番地
電　話　〇七四三（六七）三一三一
ＦＡＸ　〇七四三（六七）三一四一

日西製罐株式会社
代表取締役　矢谷満里子
大阪府大東市御領三―五―二〇
電　話　〇七二（八七四）〇九七一
ＦＡＸ　〇七二（八七五）四二五二

三国金属工業株式会社
代表取締役社長　村野光広
大阪府豊中市豊南町西四―七―二〇
電　話　〇六（六三三二）〇二五一
ＦＡＸ　〇六（六三三四）〇二五五

明和金属工業株式会社
代表取締役　渋谷眞理子
大阪府高石市取石七―五―一六
電　話　〇七二（二七四）一二〇一
ＦＡＸ　〇七二（二七一）六三六五

山雄製缶工業株式会社
代表取締役 山本浩之
大阪府大阪市北区大淀中五―一一―二四
電話 〇六(六四五一)五一四一
FAX 〇六(六四五一)〇八二一

有限会社山野初製缶所
代表取締役 木下光美
大阪府八尾市太田七―一〇
電話 〇七二(九四八)〇五五八
FAX 〇七二(九四八)二八五五

株式会社ライトハウス金属工場
代表取締役 岩橋 徹
大阪府大阪市鶴見区今津中二―四―三四
電話 〇六(六九六三)〇四四一
FAX 〇六(六九六八)二二九八

日東製罐販売株式会社
代表取締役社長 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五一)一五六一
FAX 〇五六四(五一)一五六三

高野興業株式会社
代表取締役 高野康弘
東京都墨田区本所一―二―三
電話 〇三(三六二三)一一六六
FAX 〇三(三六二二)六二六四

富安株式会社
代表取締役社長 田川正之
東京都墨田区太平四―五―一五
電話 〇三(五六一一)七七五一
FAX 〇三(五六一一)七七五〇

中村商事株式会社
代表取締役社長 中村 定
東京都千代田区神田和泉町一―七一
電話 〇三(五六八七)五九一一
FAX 〇三(五六八七)六一五五

明邦鋼業株式会社
代表取締役社長 窪島孝行
埼玉県越谷市新川町一―一四五
電話 〇四八(九八七)〇七〇一
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

スチールリーフ株式会社
代表取締役社長 茂木孝之
東京都葛飾区亀有五―四八―一五
電話 〇三(三六二〇)八〇三〇
FAX 〇三(三六二〇)八〇六〇

エイコー株式会社
代表取締役社長 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二二)八三七三
FAX 〇四八(九二二)八三七五

株式会社MOBY
代表取締役社長 宮内 太
千葉県市川市塩浜一―一四
電話 〇四七(三〇六)〇二一〇
FAX 〇四七(三〇六)〇二四八

大成ブリキ印刷株式会社
代表取締役社長 中田正和
茨城県稲敷郡河内町長竿冨田四四六二
電話 〇二九七(八六)二二〇一
FAX 〇二九七(八六)二四二〇

東都金属印刷株式会社
代表取締役 菅谷誠一
千葉県船橋市小野田町一五一二―三
電話 〇四七(四五七)五四六一
FAX 〇四七(四五七)七二三八

富安金属印刷株式会社
代表取締役 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二五)一五八一
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

二橋プリント株式会社
代表取締役 二橋英之
埼玉県三郷市彦川戸一―三八―六
電話 〇四八(九五三)二三六一
FAX 〇四八(九五三)五四二一

株式会社城北鍼力印刷工業所
代表取締役 竹腰忠臣
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一―一
電話 〇四(七一九八)二六一一
FAX 〇四(七一九八)二七七九

株式会社江連金属印刷所
代表取締役 江連 一
千葉県松戸市上本郷八一
電話 〇四七(三六二)〇一三五
FAX 〇四七(三六二)八七一五

株式会社池上金属印刷
代表取締役 小川千枝子
埼玉県八潮市大曽根一二八九
電話 〇四八(九九六)〇〇三九
FAX 〇四八(九九六)二七二七

新里機工株式会社
代表取締役 金澤幸一
埼玉県川口市東領家四―七―一
電話 〇四八(二九一)九〇九七
FAX 〇四八(二九一)九〇九八

株式会社N・P・W技研（ネピュー）
代表取締役 山本健士
三重県伊勢市佐八町八九四
電話 〇五九六(三九)一一三三
FAX 〇五九六(三九)一一三六

松本金属工業株式会社
代表取締役 松本勝俊
大阪府大阪市北区天満二―一二―八
電話 〇六(六三五三)〇九四一
FAX 〇六(六三五三)九四四九

株式会社井上博商店
代表取締役社長 井上歩美
大阪府大阪市住吉区万代東一―一―四〇
電話 〇六(六六九一)一一二五
FAX 〇六(六六九一)一一二七

JFE商事ブリキセンター株式会社
代表取締役 清末浩史
大阪府大東市御領三―七―三
電話 〇七二(八七〇)九七三一
FAX 〇七二(八七〇)九七三〇

是松鋼商株式会社
代表取締役社長 是松一郎
大阪府東大阪市楠根二―六―三
電話 〇六(六七四八)二三六一
FAX 〇六(六七四六)〇四〇〇

三幸商事株式会社
代表取締役 武田有広
大阪府大阪市西区北堀江一―一二―一四
電話 〇六(六五四一)九三三一
FAX 〇六(六五四一)三五八八

株式会社 神光
代表取締役 小河 薫
大阪府吹田市南正雀一―二八―一
電話 〇六(六三八一)四四六六
FAX 〇六(六三八一)六〇一一

日東金属工業株式会社
代表取締役 大久保八城
大阪府八尾市太田七―一六
電話 〇七二(九四九)六七一一
FAX 〇七二(九四九)六七五九

西部容器株式会社
代表取締役社長 川島大吾
大阪府摂津市別府二―三一―一八
電話 〇六(六三四九)一六五一
FAX 〇六(六三四九)七二二八

株式会社伊賀井商店
代表取締役 茶屋正則
愛知県東海市南柴田町ハの割一二八―一三
電話 〇五二(六〇三)五五九一
FAX 〇五二(六〇三)五五九五

富士メタルプリンティング株式会社
代表取締役　榊原和彦
静岡県島田市中河九八五―四
電　話　〇五四七（三八）三八五一
ＦＡＸ　〇五四七（三八）三八五三

大貫金属工業株式会社
代表取締役　大貫賢充
東京都葛飾区東新小岩五―一七―二
電　話　〇三（三六九一）六一七九
ＦＡＸ　〇三（三六九一）六一七九

日本メタルプリント株式会社
代表取締役　大塚吉弘
千葉県船橋市南海神一―八―一
電　話　〇四七（四三五）〇〇一二
ＦＡＸ　〇四七（四三三）九七六一

西日本一般缶工業協同組合
缶友会ゴルフ懇親会

平成30年10月30日午後6時から、ホテルグランヴィア大阪20階「クリスタルルーム」で、缶友会のメンバーを含めて、出席者15人で懇親会を開催した。

例年、秋に缶友会ゴルフを開催していたが、今回はゴルフに替えて懇親会を催した。

会では、缶友会ゴルフ会が48年経過した第151回までの開催の足跡と、回の優勝者等の紹介を行い和やかな懇親の場となった。

次回は、ゴルフ会で2019年5月に行う予定。

缶友会ゴルフ会メンバーの記念撮影

東日本一般缶工業協同組合
CPSM会

平成31年11月14日取手国際ゴルフ倶楽部で第65回CPSM会を開催。参加者は23人。

上位入賞者は次の通り。

優勝　菅井秀容氏（愛罐コーポレーション）
49・46・95・28・67

二位　菅谷誠一氏（東都金属印刷）
51・46・97・25・72

三位　片山雅朗氏（スチールリーフ）
51・49・100・28・72

シニア枠
優勝　菊井　治氏（富安金属印刷）
43・41・84・8・76

次回は平成31年4月に行う予定。

東日本一般缶工業協同組合
平成30年8月から平成31年1月までの行事

平成30年
8／1　明治大学森下ゼミ夏季納会
8／22　事務局長協会「職員交歓会会場下見」
8／22　東京都中央会「情報セキュリティー対策講習会」
9／10　全国中央会「組合士スキルアップ研修」
9／12　第2回理事会（役員会）
9／27　東京都中央会「中小企業トップセミナー」
9／28　金属印刷組合との情報交換会
10／5　組合士協会「新事業研究部研修会」
10／10　東京都中央会「平成30年度表彰式」
10／15　CPSM会会議
10／22　組合士協会「常任理事会」
10／24　東京都中央会「働き方改革関連法対応セミナー」
10／29　鉄二健保「第19期組合会議員総会」
11／2　「東京都中央会職員研修会」へ講師派遣
11／7　東京浅草税務署「年末調整等説明会」
11／14　第65回CPSM会
11／15　三井生命保険「異業種交流会」
11／20　台東育英小学校へ理事長交代挨拶
11／22　第2回常任理事会
11／22　鉄二健保「理事会」
12／4　事務局長協会「職員交歓会」
12／14　組合士協会「役員会」
12／14　第3回理事会（役員会）
12／25　忘年会
平成31年
1／10　明治大学森下ゼミ冬季納会
1／23　東京都中央会「新年賀詞交歓会」
1／29　三役年始挨拶回り
1／30　鉄二健保「第68回保健委員会」
1／31　第39回優良従業員表彰式
1／30～31　東京都中央会「組合まつりin TOKYO」

西日本一般缶工業協同組合

平成30年
8／3　役員会
8／22　合同部会
10／3　4S会
10／30　缶友会懇親会
12／6　役員会
平成31年
1／8　組合新春懇親会
1／9　大阪金属印刷工業協同組合「新年互礼会」
1／24　合同部会・技術交流会会議及び懇親会

全日本一般缶工業団体連合会

平成30年
8／31　経済産業省金属課「平成30年度鉄鋼製品業況ヒアリング」
9／6　すみだサポートセンター「チラシ・HP作成セミナー」
9／12　第1回理事会（役員会）
10／16　スチール缶リサイクル協会「記者説明会」
10／22　エコプロ2018「出展ブースWG会議」
10／23　新会長就任挨拶回り
10／26　経済産業省「製造業の外国人材受け入れに向けた業界向け説明会」
10／30　スチール缶連絡協議会
10／31　第13回容器包装3R推進フォーラム
11／6　新会長就任挨拶回り
11／10　東京産業考古学会講演会「金属印刷の歴史と技術遺産として保存活用」
11／20　第2回東日本一般缶PR活動推進協議会
11／30　エコプロ2018「配布物セッティング」①
12／3　エコプロ2018「配布物セッティング」②
12／6～8　エコプロ2018出展
平成31年
1／10　ドラム缶工業会「新年賀詞交歓会」
1／11　三役年始挨拶回り
1／18　第2回理事会（役員会）・第2回全日本一般缶PR活動推進協議会
1／18　新年賀詞交歓会
1／21　経済産業省「製造業における外国人材受け入れに向けた制度説明会」
1／23　全国十八リットル缶工業組合連合会「新年賀詞交歓会」
1／28　スチール缶連絡協議会

2019年2月から7月までの行事予定

東日本一般缶工業協同組合

2／1　鉄二健保「理事会」
2／15　事務局長協会「新年交流会」
2／19　中小企業大学校連携組織化実習ヒアリング
2／22　教育講習会「販路開拓の進め方」
2／27　中小企業大学校連携組織化実習報告会
3／15　第3回常任理事会
3／15　第4回理事会（役員会）
3／27　事務局長協会
4／10　第66回CPSM会監事会
4／18　第1回理事会（役員会）
4／12　第41回通常総会
5／17　第63回定期総会
5／31　東京都中央会「第67回通常総会」

西日本一般缶工業協同組合

2／27　工場見学会「新日鐵住金㈱広畑製鐵所」
3／28　役員会
4／5　4S会ゴルフ
5／9　缶友会ゴルフ
5／23　第51期定時総会
6／上旬　合同部会

全日本一般缶工業団体連合会

2／7　鉄鋼製品団体協会「研修会・新年会」
2／25　鉄鋼製品団体協会「施設見学会」
3／15　第3回理事会（役員会）
3／15　第3回全日本一般缶PR活動推進協議会
5／14　連合会監査
6／14　第41回定時総会
6／14　第1回全日本一般缶PR活動推進協議会
6／14　第43回全国流通委員会・部会協議会
7／5　一般缶イノベーションフォーラム2019

組合伝言板

《代表者交代》
（東日本組合員）
エム・イー・CAN㈱
代表取締役社長　海老塚与将氏
平成30年10月
（西日本組合員）
三国金属工業㈱
代表取締役社長　村野光広氏
平成30年9月

《脱退組合員》
（東日本組合員）
寺島製缶工業㈱
平成30年10月1日

《社名変更》
（東日本組合員）
エム・イー・CAN㈱
（旧会社名：進和製鑵㈱）
平成30年10月1日

《住所変更》
（東日本組合員）
JFE商事ブリキセンター㈱
東京営業所
〒100－0004
東京都千代田区大手町2－7－1
JFE商事ビル4階
平成30年8月24日